

## ポータブルヘッドホンアンブ

取扱説明書

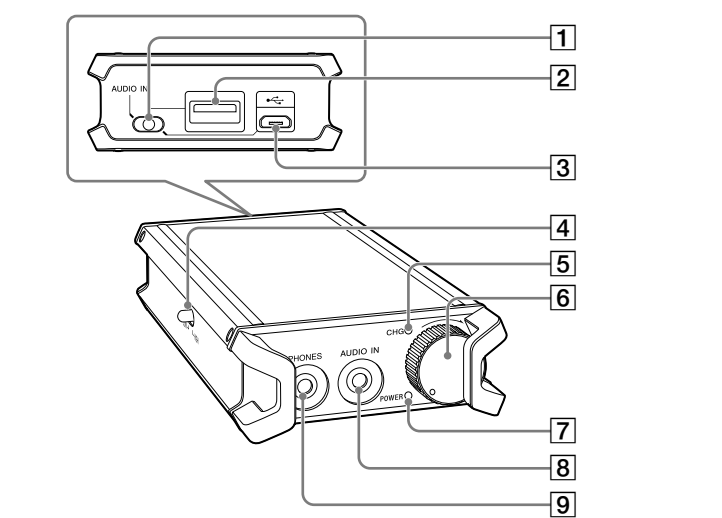


PHA-1

## 主な特長

- 高品質アナログ回路とデジタル回路を搭載することにより、高い解像度や広いダイナミックレンジ、高音質化を実現しました。ソニーのヘッドホンのポテンシャルを最大限に発揮させるポータブルヘッドホンアンブです。
- iPod/iPhone/iPadなどのオーディオデータをデジタルのまま受けとり、内部の高品位なDAコンバーターでアナログ変換することにより、原音に忠実で自然な高音質を実現しました。
- USB Audio対応(96 kHz/24 bit)非同期方式(Asynchronous)を採用。PC側のジッターから分離された高精度なクロックによる、正確なD/A変換を実現しました。96 kHz/24 bitのフォーマットに対応する\*ことにより、それら高音質コンテンツの実力をあますことなく再現します。  
\* OSによっては対応しておりません。

## 各部の名前



- 1 入力切替スイッチ

2 iPod/iPhone/iPad接続端子

3 ⇄ (USB)端子

4 GAIN(ゲイン)スイッチ

5 CHG(充電)ランプ(赤)
- 6 電源／音量つまみ

7 POWER(電源)ランプ

8 AUDIO IN端子

9 PHONES(ヘッドホン)端子
- 詳しくは「音楽を聞く」の「ヘッドホンに合わせてGAINを調節する」には「を確認ください。」

電源が入ると点灯します。通常は緑色、電池が消耗するとオレンジ色に点灯します。

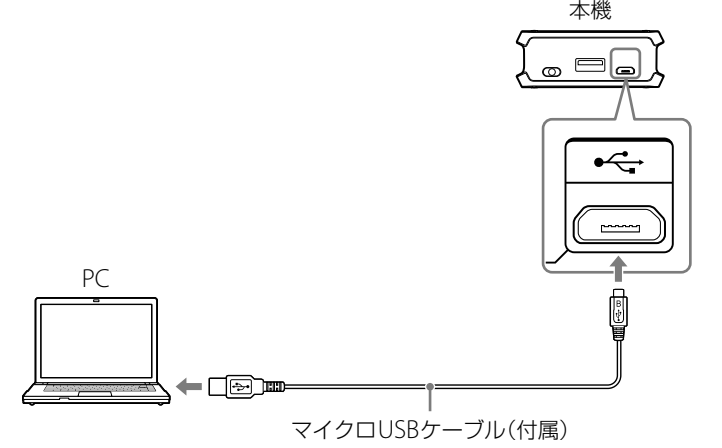
充電中に点灯します。

## はじめに充電する

本機は充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。充電してからお使いください。充電中はCHGランプ(赤)が点灯し充電後に消灯します。充電時間は約4.5時間です。

### 1 本機の電源を切る。

### 2 付属のマイクロUSBケーブルで、起動しているPCと本機をつなぐ。

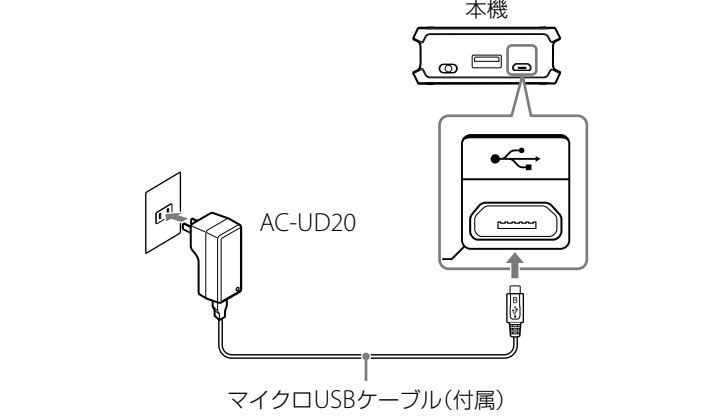


- ご注意**
- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しないでください。
  - 本機を初めてPCにつないだときは、本機が有効なUSBデバイスとして認識されるまでに多少の時間がかかります。
  - 本機を長期間お使いにならなかったとき、PCにつないで充電しても、本機のCHGランプ(赤)がすぐに点灯しないことがあります。本機からマイクロUSBケーブルをはずさず、CHGランプ(赤)が点灯するまでしばらくお待ちください。
  - 本機の電源が入っているときは充電は開始しません。また、充電中に本機の電源を入れると充電は終了します。
  - 周囲の温度が5℃～35℃の環境で充電してください。この範囲の外で充電すると、CHGランプ(赤)が点滅し、充電できないことがあります。
  - 本機とPCをつないでいる間にPCが省電力モードになると、正しく充電されません。つなく前にPCの設定を確認してください。PCが省電力モードになるとCHGランプ(赤)は自動的に消灯します。この場合は、充電をやり直してください。
  - 本機とPCは必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく充電されないことがあります。
  - 本機が十分に充電されていると、CHGランプ(赤)が点灯しないことがあります。
  - 充電完了時にCHG(赤)ランプが点滅することがありますが、故障ではありません。

- 長期にわたって保管する場合は、高温の場所は避けて保管してください。また、1年以上の長期にわたって保管する場合は、充電電池の過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。

### 電源コンセントから充電するには

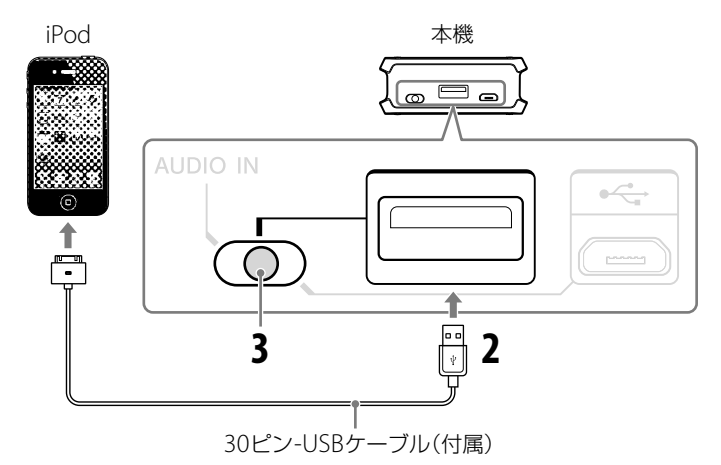
USB ACアダプター AC-UD20(別売)をお使いください。詳しくは、USB ACアダプターに付属の取扱説明書をお読みください。



## オーディオ機器を接続する

### iPod

対応する機種については「対応iPod/iPhone/iPad」をご覧ください。特別な場合を除き、この取扱説明書ではiPod、iPhoneおよびiPadの総称として「iPod」と記載しています。



### 1 iPodの電源を入れる。

### 2 本機のiPod/iPhone/iPad接続端子に付属の専用ケーブルを使い、iPodをつなぐ。

### 3 入力切替スイッチを中央の位置にする。

対応iPod/iPhone/iPad

対応機種は以下のとおりです。本機につないで使用する前にiPodを最新のソフトウェアにアップデートしてください。

- iPod touch (第4世代)
- iPod touch (第3世代)
- iPod touch (第2世代)
- iPod nano (第6世代)
- iPod nano (第5世代)
- iPod nano (第4世代)
- iPod nano (第3世代)
- iPod classic 120GB / 160GB (2009)
- iPod classic 160GB (2007)
- iPod classic 80GB
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G
- iPad (第3世代)
- iPad 2
- iPad

※2012年7月現在

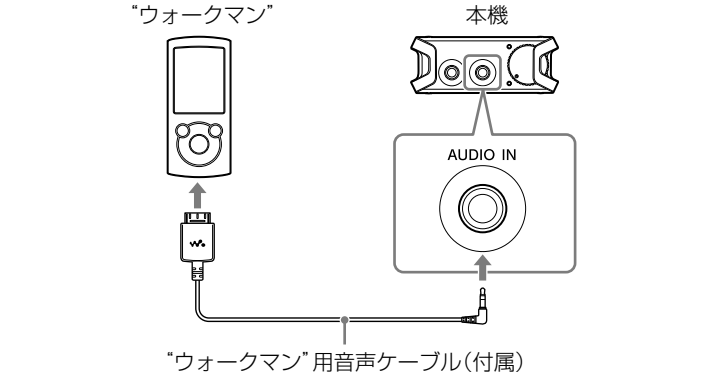
#### ご注意

- PC、または推奨のUSB ACアダプターとつないで使用しているときでも、大音量で聞いているときは電池が消耗する場合があります。
- 本機はiPodの音声再生機能にのみ対応しています。
- 本機からiPodに曲を転送することはできません。
- 対応していないiPodを本機に接続しないでください。本機に対応していないiPodを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機につないだiPodを使用中にiPodに保存されたデータが消失、破損しても、弊社では一切の責任を負いません。
- 操作中にiPodを取りはずさないでください。データが破損するのを避けるために、iPodを接続または取りはずすときは、音楽を停止した後、本機の電源を切ってください。
- 本機につないだiPodは充電されません。
- 音がひずむときは、iPodのイコライザを「Off」または「Flat」に設定してください。
- iPod touchやiPhoneは電源を入れないと動作しません。接続および操作をする前にiPod touchやiPhoneの電源を入れてください。
- 接続したiPodによっては音量を調節すると突然大きな音が出る場合があります。
- iPodの電池残量が非常に少ない場合は、充電してからお使いください。
- iPhoneの着信音やアプリケーションによっては音楽の音量と異なる場合があります。お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- iPhoneがマナーモードに設定されているときは、着信音が聞こえない場合があります。
- アップルのホームページでiPod操作環境条件の詳細をご確認ください。
- 電池が消耗していると、PC、推奨USB ACアダプターに接続しても本機の電源が入らないことがあります。そのような場合は本機を充電してからお使いください。充電方法は「はじめに充電する」をご覧ください。

### “ウォークマン”

“ウォークマン”用音声ケーブル(付属)を使って接続すると、“ウォークマン”内部のアンプを経由せず、本機で直接信号を増幅させることができます。

### 1 本機のAUDIO IN端子に付属の専用ケーブルを使い、“ウォークマン”をつなぐ。



### 2 入力切替スイッチを「AUDIO IN」にする。

### 3 つないだ“ウォークマン”の電源を入れる。

対応“ウォークマン”

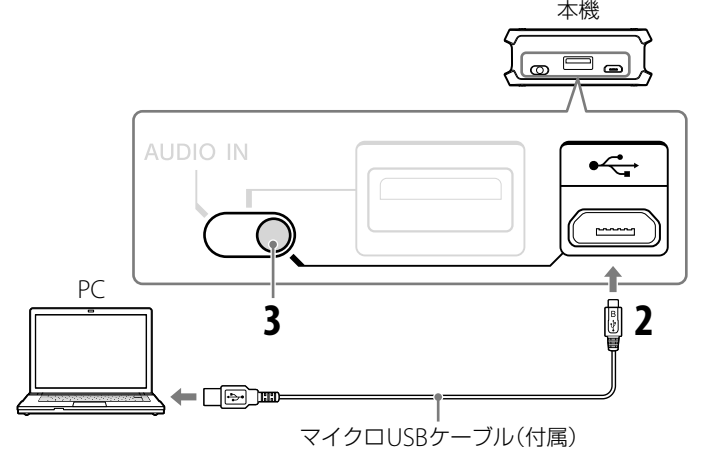
WM-PORT(22ピン)搭載の“ウォークマン”でご利用できます。WM-PORTは、“ウォークマン”とアクセサリを接続する専用マルチ端子です。

#### ご注意

- 本機は“ウォークマン”の音声再生機能にのみ対応しています。
- “ウォークマン”は電源を入れないと動作しません。操作する前に“ウォークマン”の電源を入れてください。
- WM-PORT(22ピン)を搭載していない“ウォークマン”を接続する場合は、「その他の機器」に記載の方法で接続してください。
- ソニーは本機に接続した“ウォークマン”に記録されたデータの破壊や損失について、責任を負いません。
- 対応している“ウォークマン”でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 本機につないだ“ウォークマン”は充電されません。
- ご使用の“ウォークマン”によっては、ダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT、DSEE、スピーカー出力最適化などがオンまたは調整されている場合がありますので、音がひずむときはそれらの機能をオフにしてください。
- “ウォークマン”接続中は、“ウォークマン”のヘッドホン端子からは音は出ません。
- “ウォークマン”接続中は、“ウォークマン”の音量調節はできません。

### PC

本機でPCの音楽ファイルを再生できます。動作環境は、裏面の「主な仕様」をご覧ください。



### 1 PCを起動する。

### 2 本機の⇄(USB)端子に付属の専用ケーブルを使い、PCをつなぐ。

### 3 入力切替スイッチを「⇄(USB)」にする。

#### ヒント

- 本機はUSBオーディオデバイスとしてUSB(USB2.0 Full Speed)をサポートしています。

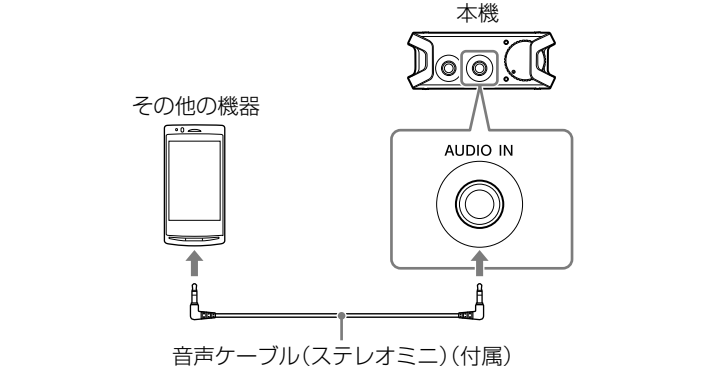
#### ご注意

- PC、または推奨のUSB ACアダプターとつないで使用しているときでも、大音量で聞いているときは電池が消耗する場合があります。
- PCとつないで大音量で聞いているときに、POWER(電源)ランプが点滅したり音が途切れたりすることがありますが、故障ではありません。そのような症状が出る場合は、音量を下げてください。
- 本機を初めてPCにつないだときは、本機が有効なUSBデバイスとして認識されるまでに多少の時間がかかります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用した際の動作は保証しておりません。必ず付属の専用USB接続ケーブルを使って接続してください。
- 操作中にUSBデバイスを取りはずさないでください。データが破損するのを避けるために、USBデバイスを取りはずすときは、音楽を停止した後、本機の電源を切ってください。
- デジタル放送の音声は、PCのUSB端子からは出力されません。デジタル放送の音声聞くときは、「その他の機器」に記載の方法で、PCのアナログ音声出力から本機のAUDIO IN端子に接続してください。
- 電池が消耗していると、PC、推奨USB ACアダプターに接続しても本機の電源が入らないことがあります。そのような場合は本機を充電してからお使いください。充電方法は「はじめに充電する」をご覧ください。

### その他の機器

スマートフォンや携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの機器を本機に接続して音楽を楽しむことができます。接続する前に接続機器の音量を下げてください。また、本機の電源は切ってください。

### 1 本機のAUDIO IN端子に付属の専用ケーブルを使い、機器をつなぐ。



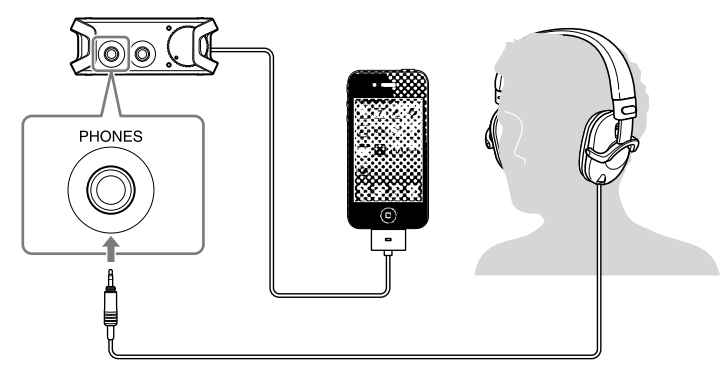
### 2 入力切替スイッチを「AUDIO IN」にする。

### 3 つないだ機器の電源を入れる。

#### ご注意

- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオやTV放送の受信ができなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- ラジオなどを聞いているときにノイズが入る場合は、接続している機器と本機を離してご使用ください。
- PC、または推奨のUSB ACアダプターとつないで使用しているときでも、大音量で聞いているときは電池が消耗する場合があります。
- 電池が消耗していると、PC、推奨USB ACアダプターに接続しても本機の電源が入らないことがあります。そのような場合は本機を充電してからお使いください。充電方法は「はじめに充電する」をご覧ください。

## 音楽を聞く



### 1 本機とヘッドホンを接続する。

#### ご注意

- ヘッドホンのステレオミニプラグを接続してください。
- 本機は、モノラル、リモコン付きヘッドホンまたはマイク付きヘッドセットなどのプラグには対応していません。故障の原因となりますので、接続しないでください。

### 2 オーディオ機器を接続する。

「オーディオ機器を接続する」の手順に従って接続してください。

### 3 電源／音量つまみを右へ回して本機の電源を入れる。

POWER(電源)ランプが点灯します。さらに回すと音量が上がります。POWER(電源)ランプは電源が入ると点灯します。通常は緑色、電池が消耗するとオレンジ色に点灯します。

#### ご注意

- 本機を初めてPCにつないだときは、本機が有効なUSBデバイスとして認識されるまでに多少の時間がかかります。

### 4 接続した機器を再生する。

### 5 音量を調節する。

本機の電源／音量つまみを回して調節します。接続するヘッドホンによっては、電源／音量つまみを回しきっても音量が小さい場合があります。音量が足りない時は、本機の電源を切った後にGAINスイッチを「HIGH」に切り換えてください。通常は「LOW」でお使いください。「ヘッドホンに合わせてGAINを調節するには」を参照してGAINスイッチで調節してください。

#### ヒント

- スマートフォンや携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの機器を接続する場合は、接続する機器の音量をあらかじめ調節してください。また、機器によっては出力先の設定が必要な場合があります。

### ヘッドホンに合わせてGAINを調節するには

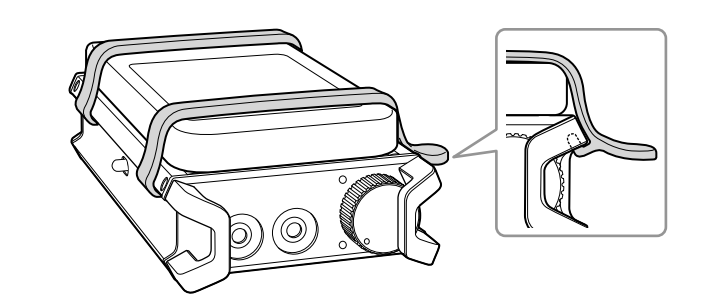
接続するヘッドホンに合わせてGAINを調整できます(初期設定:LOW)。GAINスイッチを切り換えるときは、本機の電源を切った後、GAINスイッチを「HIGH」にしてください。

## オーディオ機器と本機を固定する

付属のシリコンベルトを使い、本機と接続した機器を固定することができます。

### シリコンベルトの使いかた

接続した機器を本機に載せ、シリコンベルトの両端を本機の溝に引っ掛けてください(シリコンベルトは4本付属)。



#### ヒント

- オーディオ機器が本機のゴム製レールに乗らない場合は、付属のシートを挟んで使うと傷付きを低減することができます。

#### ご注意

- シリコンベルト使用中に生じたオーディオ機器の破損について、弊社では責任を負いません。
- シリコンベルトはすべてのオーディオ機器を固定することを保証するものではありません。

## 安全に関するお知らせ

**⚠警告** 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る  
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- 定期的に点検する  
1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。
- 故障したら使わない  
動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。
- 万一、異常が起きたら  
変な音・においがしたら、煙が出たら





- 電源を切る
- 充電中の場合は本機をパソコンなどからはずす
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口 に修理を依頼する


#### 警告表示の意味


取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



- ⚠危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
- ⚠警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- ⚠注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号
 注意	 禁止
 火災	 分解禁止
 感電	 接触禁止



<b>⚠危険</b>	 火災	 感電	下記の注意事項を守らないと <b>火災・感電・発熱・発火</b> により <b>死亡や大けが</b> の原因となります。
------------	--	--	--


-  **禁止**
- 付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない  
充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。


-  **禁止**
- 推奨以外のUSB ACアダプターを使わない**  
USB ACアダプターを用いて充電するときは、必ず推奨のAC-UD20(別売)を使用してください。


-  **禁止**
-  **分解しない**  
故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

-  **禁止**
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない


<b>⚠警告</b>	 火災	 感電	下記の注意を守らないと、 <b>火災・発熱・発火・感電</b> により <b>やけどや大けが</b> の原因となります。
------------	--	--	--


-  **禁止**
- 道路交通法に従って安全運転する**  
運転者は**道路交通法に従う義務があります**。前方注意をおこたるなど、**安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります**。
- 運転中は使用しない。
  - 運転中に携帯電話の画面を注視しない。
  - 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では本機を使わないでください。


-  **禁止**
- 内部に水や異物を入れない**  
本機は防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。


-  **禁止**
- 本体を布団などでおおった状態で使わない**  
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

<b>⚠注意</b>	下記の注意を守らないと <b>けが</b> をしたり <b>周辺の家財に損害</b> を与えたりすることがあります。
------------	--

-  **禁止**
- 大音量で長時間続けて聞きすぎない**  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

-  **禁止**
- はじめから音量を上げすぎない**  
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

-  **禁止**
- 通電中の製品に長時間ふれない**  
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

-  **禁止**
- 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない**  
変形や故障の原因となることがあります。


## 電池についての安全上のご注意

**液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。**

<b>⚠危険</b>	<b>充電式電池が液漏れしたとき</b>
<b>充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない</b>	液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
<b>液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。</b>	液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

<b>⚠危険</b>	<b>充電式電池について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。</li> <li>火の中に入れない。分解、加熱しない。</li> <li>火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。</li> <li>液漏れした電池は使わない。</li></ul>	

#### 本機を廃棄するときのご注意

	本機に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。
Li-ion	

## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

**音が出ない**  
→ 本機とオーディオ機器との接続を確認する。  
→ 接続した機器の電源が入っているか確認する。  
→ 本機の電源を入れる。  
→ 入力切換スイッチの位置を確認し、オーディオ機器を接続した位置にする。  
  
→ 接続した機器の音量を上げる。  
→ 本機の音量を上げる。  
→ POWER(電源)ランプが点灯しない場合は充電する。  
→ 本機とヘッドホンのプラグをしっかりと接続する。  
→ モノラルのヘッドホンをつないでいる。  
モノラルのヘッドホンには対応しておりません。故障の原因となりますので、接続しないでください。

**PCに接続したとき音が出ない、正常に再生できない**  
→ PCまたはお使いのソフトウェアの音量を上げる。  
→ 音楽再生ソフトなどの利用中に本機を接続した。  
音楽再生ソフトなどを起動しなおす。  
→ 音楽再生ソフトなどで再生中にPCがスタンバイ(スリープ)、休止状態になった。  
音楽再生ソフトなどを起動しなおす。  
→ PCのサウンドデバイスを正しく設定する。

**Windows 7/Windows Vista**  
スタートメニュー→コントロールパネル→ハードウェアとサウンド→サウンド→再生タブを選択→再生デバイスからPHA-1を選択して既定値に設定をクリック

**Windows XP**  
スタートメニュー→コントロールパネル→サウンド、音声、およびオーディオデバイス→サウンドとオーディオデバイス→オーディオタブを選択→音の再生の既定のデバイスからPHA-1を選択

**Macintosh**  
Appleメニュー→システム環境設定→サウンド→出力タブを選択→サウンドを出力する装置の選択からPHA-1を選択

- PCのボリュームコントロールまたは音楽再生ソフトウェアなどがミュートイング(消音)になっている。  
ミュートイング(消音)を解除する。
- 本機がUSB機器としてPCに認識されていない。  
PCを再起動する。
- デジタル再生機能に対応していないCD-ROMドライブを使用している。  
デジタル再生機能に対応したCD-ROMドライブを使う。
- デジタル放送の音声聞こうとしている。  
デジタル放送の音声はPCのUSB端子から出力されません。PCのアナログ音声出力から本機のAUDIO IN端子に接続してください。

**音が小さい**  
→ 接続した機器の音量を上げる。  
→ 本機の音量を上げる。  
→ インピーダンスが高いヘッドホンを使うときは、GAINを「HIGH」にする。  
→ ステレオミニプラグのヘッドホンを使う。  
本機はステレオミニプラグのヘッドホンに対応しています。リモコンやマイクが付いたヘッドホン/ヘッドセットを使うと、音が小さかったり音が出なかったりします。

**電源が入らない**  
→ 本機を充電する。  
→ 電池持続時間が通常の半分程度まで低下したときは、充電電池の寿命と考えられます。充電電池の交換についてはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

**音がひずむ**  
→ AUDIO IN端子にオーディオ機器を接続したとき、接続した機器の音量を下げる。  
→ 接続した機器のイコライザなどの設定をOFFにする。  
→ 本機を充電する。  
**充電できない**  
→ 本機とPCが付属のマイクロUSBケーブルでしっかり接続されているか確認する。  
→ PCの電源が入っているか、スタンバイ(スリープ)、休止状態に入っていないか確認する。  
→ 本機とPCがUSBハブなどを經由せずに直接つながっているか確認する。  
→ 上記に当てはまらない場合は、USB接続をし直す。  
→ 接続しているPCのUSB端子に問題がある可能性があるので、PCに別のUSB端子があれば、そのUSB端子に接続し直す。  
→ 推奨外のUSB ACアダプターを使用している。  
→ 本機の電源が入っている。

- 推奨外の給電については対応できないことがあります。
- 本機が満充電。  
満充電のときは、本機のCHGランプ(赤)が一瞬光ってすぐに消灯し、充電しないことがあります。故障ではありません。「はじめに充電する」をご覧ください。
- 本機を長期間お使いにならなかったとき、PCにつないで充電しても、本機のCHGランプ(赤)がすぐに点灯しないことがあります。本機からマイクロUSBケーブルをはずさず、CHGランプ(赤)が点灯するまでしばらくお待ちください。

**充電時間が長い**  
→ 本機とPCがUSBハブなどを經由せずに直接つながっているか確認する。  
→ 付属以外のケーブルで充電している。  
→ 推奨以外のACアダプターで充電している。  
**雑音が多い**  
→ AUDIO IN端子にオーディオ機器を接続したとき、接続した機器の音量を調節し、本機の音量を上げる。  
→ 本機をPCから離す。  
→ 音楽再生ソフトを起動しなおす。  
→ 接続したオーディオ機器の電源を入れ直す。  
**PCに接続したとき、音が途切れる**  
→ PCのCPU負荷が大きい。  
PCの不要なアプリケーションを終了する。  
→ 同時にほかのUSB機器を使用している。  
ほかのUSB機器の使用を停止する。

**リモコン付きヘッドセットのリモコンが使えない**  
→ 本機はリモコンに対応しておりません。  
**ヘッドセットのマイクが使えない**  
→ 本機はマイクに対応しておりません。  
**接続しているラジオ、TVなどが受信できない、ノイズが入る**  
→ 接続している機器と本機を離す。

## 使用上のご注意

#### 取り扱い上のご注意

- 本機は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶついたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- ラジオなどを聞いているときにノイズが入る場合は、接続している機器と本機を離してご使用ください。

#### 置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所  
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く  
変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所

## 主な仕様

<b>周波数特性</b> 10 Hz～100 kHz(AUDIO IN入力時) ひずみ率 0.01 %以下(1 kHz)	<b>質量</b> 約220 g
<b>対応インピーダンス</b> 8 Ω～600 Ω	<b>対応サンプリング周波数／ビット数</b> USB入力:最大96 kHz/24 bit
<b>最大入力</b> 1 Vrms(AUDIO IN)	<b>同梱物</b> PHA-1(本機)(1) 30ピン-USBケーブル(1) "ウォークマン"用音声ケーブル(1) マイクロUSBケーブル(1) 音声ケーブル(ステレオミニ)(1) シリコンベルト(4) シート(1) 取扱説明書(本書)(1) 保証書(1)
<b>最大出力(バッテリー駆動時)</b> 約175 mW+175 mW (8 Ω、10%ひずみ) 約26 mW+26 mW (300 Ω、10%ひずみ)	<b>推奨アクセサリ</b> USB ACアダプター:AC-UD20(別売)
<b>音声出力端子</b> ステレオミニ音声端子 (ステレオミニ音声端子は3極のステレオミニプラグで接続してください。本機は2極、4極、またはそれ以上の極数のプラグには対応していません。)	<b>動作環境</b> 対応OS: Windows7 Starter (SP1以降)/ Home Basic (SP1以降)/ Home Premium (SP1以降)/ Professional (SP1以降)/ Ultimate (SP1以降) Windows Vista Home Basic (SP2以降)/ Home Premium (SP2以降)/ Business (SP2以降)/ Ultimate (SP2以降) Windows XP Home Edition (SP3以降)/ Professional (SP3以降)/ Media Center Edition 2004 (SP3以降)/ Media Center Edition 2005 (SP3以降) Mac OS X (10.5.8以降) CPU: Pentium II 266 MHz同等以上 USBポート装備 (USB2.0 Full Speed対応)

<b>音声入力端子</b> ステレオミニ音声端子 マイクロUSB端子(タイプB) iPod/iPhone/iPad用接続端子	<b>動作温度</b> 0℃～40℃
<b>充電温度</b> 5℃～35℃	<b>電源</b> 3.7V 内蔵充電式リチウムイオン電池
<b>電池持続時間</b> *1 AUDIO IN: 約10時間*1 iPod/iPhone/iPad: 約5時間*1	<b>電池持続時間</b> *2 約4.5時間*2

- \*1 1 mW+1 mW出力(24 Ω)時。電池持続時間は、使いかたや周囲の環境によって変わります。
- \*2 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

**外形寸法**  
約67 mm×26 mm×130 mm  
(幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず)

#### 商標について

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- iPad、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPod、iPhone 又はiPad と共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。
- Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

## 保証書とアフターサービス

#### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

#### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社ではポータブルヘッドホンアンプの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

## 製品登録のおすすめ

製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をおすすめしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

#### スマートフォン、パソコンから

http://www.sony.co.jp/avp-regi/

QRコード読み取りアプリケーションでご利用ください。



#### 携帯電話から

http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能をご利用ください。



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口		
フリーダイヤル……………	0120-333-020	
携帯電話・PHS：一部のIP電話…	0466-31-2511	
修理相談窓口		
フリーダイヤル……………	0120-222-330	
携帯電話・PHS：一部のIP電話…	0466-31-2531	
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。		
FAX (共通) 0120-333-389		

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。